6 「仕事」に関する考えについて(有業者)

(1) 自分の働き方

問5は、現在働いている方(問1で「a.働いている」と回答された方)にうかがいます。現在お仕事をお持ちでない女性の方は問6へ、現在お仕事をお持ちでない男性の方は問9-1へお進みください。

問 5-1 あなたの働き方についてうかがいます。以下(1)~(16)のそれぞれの項目についてどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで下さい。(Oはそれぞれ1つずつ)

働いている人の働き方に関する各項目について「そう思う」「ややそう思う」をあわせた「そう思う計」を みると、「⑨給料や報酬が少ない」の割合が最も高く 52.1%で、次いで「⑩自分の意欲や能力を十分に活かせ る」(44.9%)、「⑭家事・育児・介護などとの両立がしやすい」(37.5%) となっている。

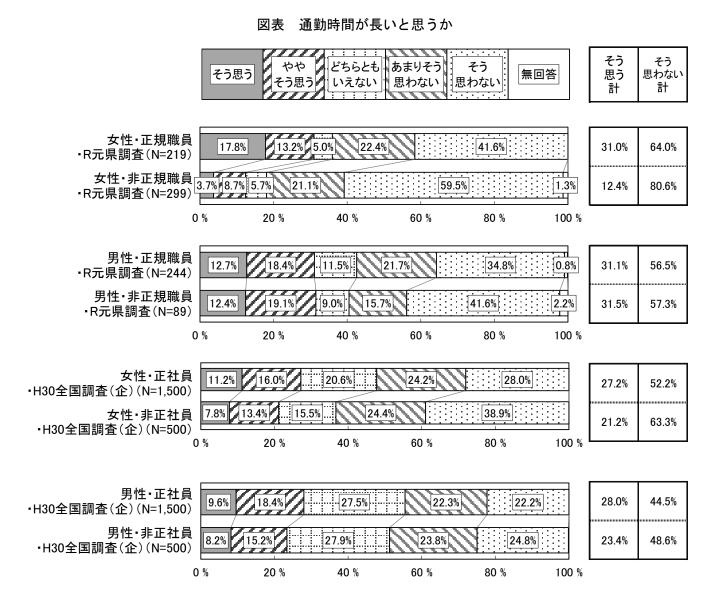
図表 自分の働き方



① 通勤時間が長いと思うか

通勤時間についての考えは、男女・正規/非正規に関わらず、通勤時間が長いと思わない人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)が高くなっている。

また、全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規別のすべてにおいてその割合が高く、男性の正規職員 (56.5%) においては、12.0 ポイント高くなっている。



※ そう思う計:「そう思う」と「ややそう思う」の合計、そう思わない計:「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計

② 労働時間が長いと思うか

労働時間についての考えを、男女別・正規/非正規別にみると、労働時間が長いと思う人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)は男性の正規職員(37.7%)に比べ、女性の正規職員(47.0%)が9.3ポイント高くなっている。

また、全国調査と比較すると、女性の正規職員では労働時間が長いと思う人の割合が 13.4 ポイント高くなっており (全国 33.6%)、逆に、男性の正規社員では労働時間が長いと思わない人の割合 (「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計) が 9.5 ポイント高くなっている。(県 38.6%、全国: 29.1%)

図表 労働時間が長いと思うか そう そう どちらとも、あまりそう そう そう思う 無回答 思う 思わない そう思う いえない ▮ 思わない ▮ 思わない 計 計 女性•正規職員 21.9% 25.1% 17.8% 24.7% 10.5% 47.0% 35.2% ·R元県調査(N=219) 女性·非正規職員 2.3% 7.4% 14.4% 28.4% 46.2% 1.3% 9.7% 74.6% 0 % 20 % 40 % 60 % 80 % 100 % 男性•正規職員 23.4% 20.9% 0.8% 23.0% 37.7% 38.6% 16.8% 15.2% •R元県調査(N=244) 男性・非正規職員 3.4% 11.2% 15.7% 32.6% 33.7% 3.4% 14.6% 66.3% •R元県調査(N=89) 0 % 20 % 40 % 60 % 80 % 100 % 女性•正社員 21.6% 29.9% 22.0% 12.0% 14.6% 33.6% 36.6% •H30全国調査(企)(N=1,500) 女性·非正社員 4.2% 8.5% 26.7% 31.2% 29.4% 12.7% 60.6% ·H30全国調査(企)(N=500) 0 % 20 % 40 % 60 % 80 % 100 % 男性•正社員 23.9% 34.6% 12.4% 19.4% 9.7% 36.3% 29.1% ·H30全国調査(企)(N=1,500) 6.3% 12.1% 男性•非正社員 19.4% 34.7% 27.6% 18.4% 47.0% ·H30全国調査(企)(N=500)

52

40 %

60 %

※ そう思う計:「そう思う」と「ややそう思う」の合計、そう思わない計:「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計

80 %

100 %

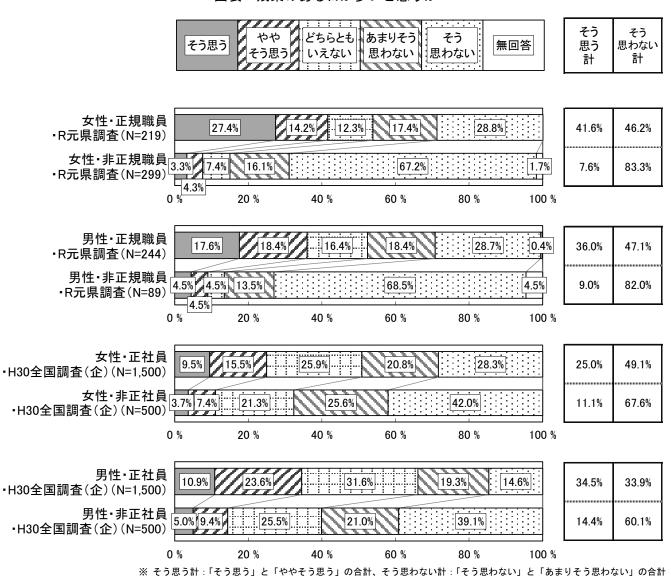
20 %

③ 残業のある日が多いと思うか

残業についての考えは、男女・正規/非正規に関わらず、残業のある日が多いと思わない人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)が高くなっている。

また、全国調査と比較すると、男性の正規職員では残業のある日が多いと思わない人の割合が 13.2 ポイン ト高くなっており (全国 33.9%)、逆に、女性の正規職員では残業がある日が多いと思う人の割合 (「そう思う」と「ややそう思う」の計)が 16.6 ポイント高くなっている (県 <math>41.6%、全国 25.0%)。

図表 残業のある日が多いと思うか

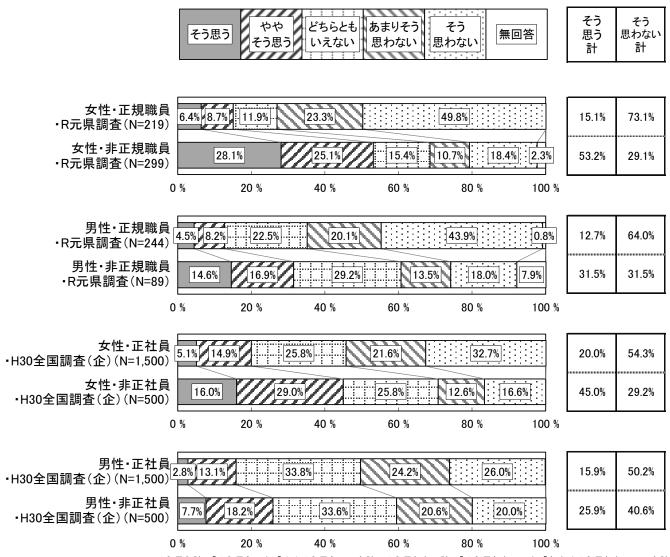


④ 都合のよい時間に働くことができると思うか

働く時間帯についての考えを、男女別・正規/非正規別にみると、都合の良い時間に働くことができると思わない人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)は男性の正規職員(64.0%)に比べ、女性の正規職員(73.1%)が9.1ポイント高くなっている。

また、全国調査と比較すると、特に女性の正規職員において、都合の良い時間に働くことができると思わない人の割合が 18.8 ポイント高くなっている。(全国:54.3%)

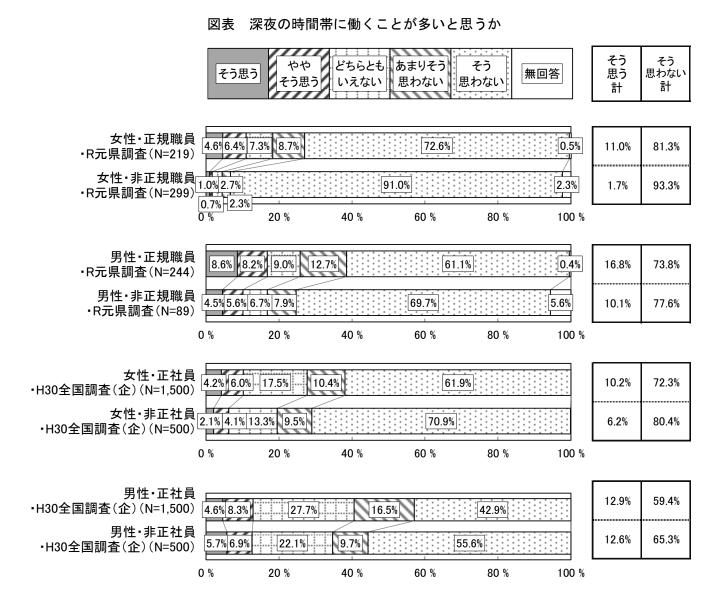
図表 都合のよい時間に働くことができると思うか



⑤ 深夜の時間帯に働くことが多いと思うか

深夜労働についての考えは、男女別・正規/非正規別に関わらず、深夜の時間帯に働くことが多いと思わない人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)が高くなっている。

また、全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規別のすべてにおいて、その割合が高くなっている。



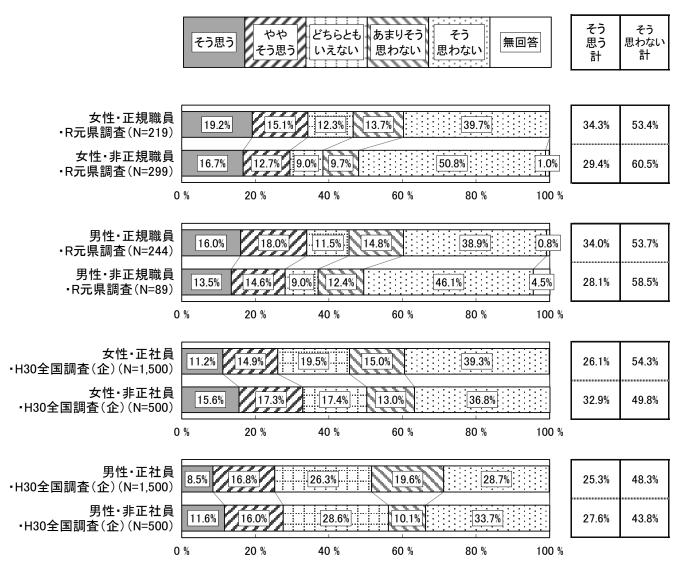
※ そう思う計:「そう思う」と「ややそう思う」の合計、そう思わない計:「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計

⑥ 土日や祝日に働くことが多いと思うか

土日や祝日に働くことについての考えは、男女別・正規/非正規別に関わらず、土日や祝日に働くことが多いと思わない人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)が高くなっている。

また、全国調査と比較すると、男女ともに正規職員において、その割合が高くなっている。



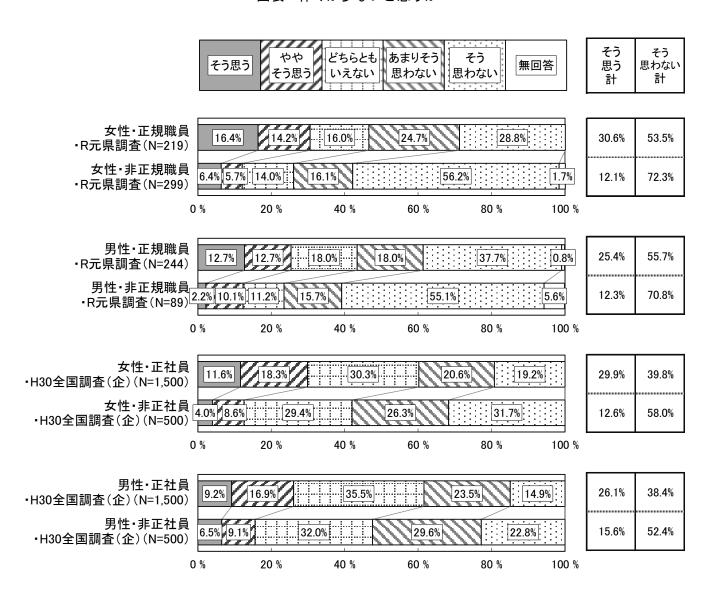


⑦ 休みが少ないと思うか

休みの多さについての考えを、男女別・正規/非正規別にみると、休みが少ないと思う人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)は、女性の正規職員が 30.6%で、男性の正規職員(25.4%)に比べ、5.2 ポイント、女性の非正規職員(12.1%)に比べ、18.5 ポイント高くなっている。

また、全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規別のすべてにおいて、休みが少ないと思わない人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)が高くなっている。

図表 休みが少ないと思うか

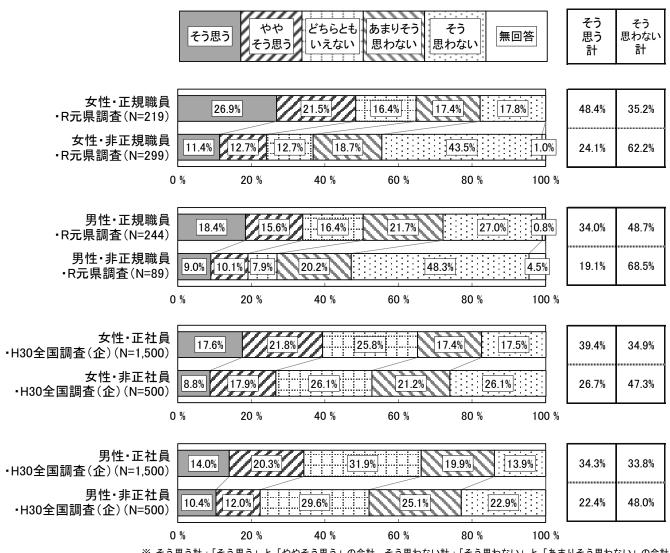


⑧ 休暇が取りにくいと思うか

休暇についての考えを、男女別・正規/非正規別にみると、休暇が取りにくいと思う人の割合(「そう思う」 と「ややそう思う」の計)は、女性の正規職員が48.4%で、男性の正規職員(34.0%)に比べ、14.4ポイント、 女性の非正規職員(24.1%)に比べ、24.3%ポイント高くなっている。

また、全国調査と比較すると、女性の正規職員では休暇が取りにくいと思う人の割合が9.0ポイント高くな っており(全国 39.4%)、逆に、男性の正規職員では休暇が取りにくいと思わない人の割合(「そう思わない」 と「あまりそう思わない」の計)が 14.9 ポイント高くなっている(県 48.7%、全国 33.8%)。

図表 休暇が取りにくいと思うか



⑨ 給料や報酬が少ないと思うか

給料・報酬についての考えは、男女・正規/非正規に関わらず、給料や報酬が少ないと思う人の割合(「そう 思う」と「ややそう思う」の計)が高くなっている。また、男女別・正規/非正規別にみると、女性において、 その割合に、正規職員(56.6%)と非正規職員(54.5%)にほとんど差がない。

さらに、全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規別のすべてにおいて、給料や報酬が少ないと思わな い人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)が高くなっている。

そう そう どちらとも、あまりそう そう そう思う 無回答 思う 思わない そう思う 思わない いえない 思わない 計 計 *** 女性•正規職員 33.3% 12.8% 23.3% 22.4% 8.2% 56.6% 21.0% ·R元県調査(N=219) 女性 非正規職員 18.7% 10.4% 27.4% 15.1% 1.3% 54.5% 25.5% ·R元県調査(N=299) 20 % 40 % 100 % 0 % 60 % 80 % 24.2% 男性•正規職員 22.5% 13.9% 0.8% 23.8% 14.8% 46.7% 28.7% ·R元県調査(N=244) 男性•非正規職員 13.5% 30.3% 30.3% 9.0% 13.5% 3.4% 60.6% 22.5% ·R元県調査(N=89) 0 % 20 % 40 % 60 % 80 % 100 % 28.7% 女性•正社員 10.8% 4.6% 26.6% 55.8% 15.4% ·H30全国調査(企)(N=1,500) 女性 非正社員 19.2% 29.8% 11.0% 7.5% 51.7% 18.5% •H30全国調査(企)(N=500) 20 % 40 % 60 % 80 % 100 % 34.1% 男性 · 正社員 10.6% 5.0% 23.4% 26.9% 50.3% 15.6% ·H30全国調査(企)(N=1,500) 男性•非正社員 27.5% 32.4% 7.5% 4.1% 60.9% 28.5% 11.6% •H30全国調査(企)(N=500)

図表 給料や報酬が少ないと思うか

※ そう思う計:「そう思う」と「ややそう思う」の合計、そう思わない計:「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計

80 %

100 %

60 %

40 %

0 %

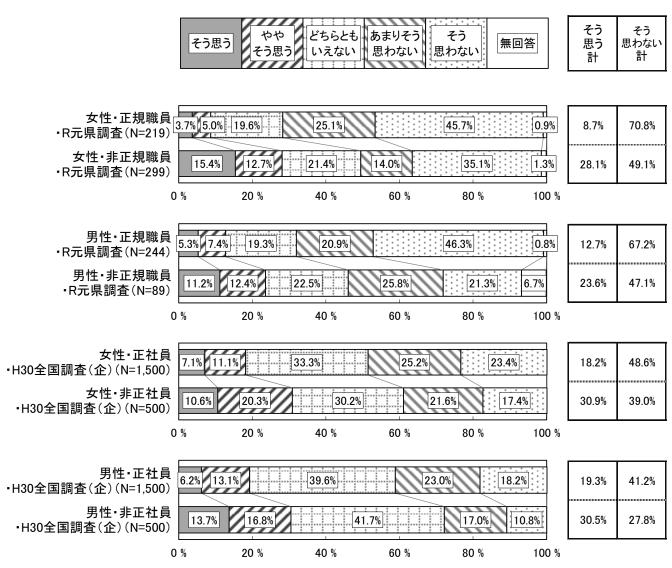
20 %

⑩ 雇用や就労が安定していないと思うか

雇用・就労の安定感についての考えは、男女・正規/非正規に関わらず、雇用や就労が安定していないと思わない人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)が高くなっている。

また、全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規別のすべてにおいて、その割合が高くなっている。



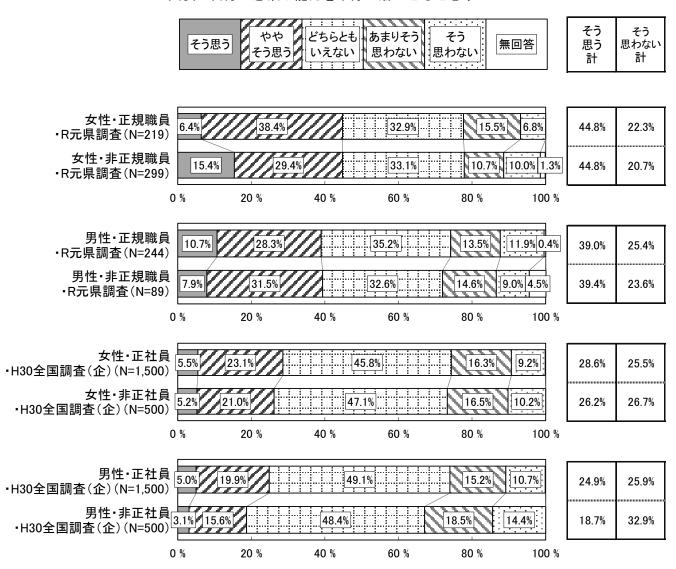


⑪ 自分の意欲や能力を十分に活かせると思うか

意欲・能力発揮についての考えは、男女・正規/非正規に関わらず、自分の意欲や能力を十分に活かせると 思う人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)が高くなっている。

また、全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規別のすべてにおいて、その割合が高くなっている。

図表 自分の意欲や能力を十分に活かせると思うか

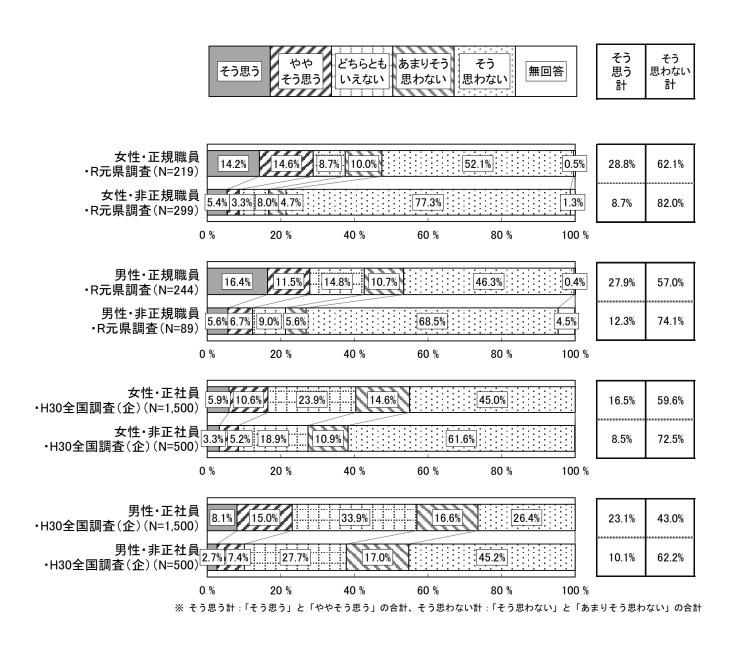


(12) 転勤の可能性があると思うか

転勤の可能性についての考えを、男女別・正規/非正規別にみると、転勤の可能性があると思う人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)は、男女ともに正規職員が非正規職員よりも高くなっている。

また、全国調査と比較すると、女性の正規職員ではその割合が12.3ポイント高くなっている(全国16.5%)。

図表 転勤の可能性があると思うか



(13) 仕事や生活が組織に縛られていると思うか

0 %

20 %

組織による束縛感についての考えを、男女別・正規/非正規別にみると、仕事や生活が組織に縛られていると思う人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)は、女性の非正規職員(14.0%)に比べ、女性の正規職員(39.7%)が25.7ポイント高くなっている。

また、全国調査と比較すると、特に女性の正規職員において、その割合が 13.3 ポイント高くなっている。 (全国: 26.4%)

図表 仕事や生活が組織に縛られていると思うか そう そう どちらとも、あまりそう やや そう そう思う 無回答 思う 思わない 思わない そう思う いえない 思わない 計 計 女性·正規職員 24.2% 15.5% 21.9% 22.8% 15.5% 39.7% 38.3% ·R元県調査(N=219) 女性·非正規職員 元県調査(N=299) 18.7% 16.7% 49.5% 1.0% 14.0% 66.2% •R元県調査(N=299) 40 % 60 % 80 % 100 % 20 % 男性•正規職員 16.8% 0.4% 38.5% 36.5% 13.1% 24.6% 19.7% •R元県調査(N=244) 男性·非正規職員 R元県調査(N=89) 22.5% 18.0% 66.3% 11.2% 43.8% 4.5% •R元県調査(N=89) 20 % 40 % 60 % 80 % 100 % 36.6% 女性·正社員 17.6% 17.8% 19.4% 37.0% 26.4% •H30全国調査(企)(N=1,500) 女性·非正社員 -H30全国調査(企)(N=500) 20.3% 28.3% 14.6% 48.6% 40 % 60 % 80 % 100 % 20 % 男性 · 正社員 45.1% 19.4% 16.0% 11.9% 27.1% 27.9% •H30全国調査(企)(N=1,500) 男性•非正社員 6.1% 9.5% 41.9% 15.6% 42.5% 18.1% 24.4% ·H30全国調査(企)(N=500)

※ そう思う計:「そう思う」と「ややそう思う」の合計、そう思わない計:「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計

80 %

100 %

60 %

40 %

(14) 家事・育児・介護などとの両立がしやすいと思うか

0 %

20 %

家庭との両立についての考えを、男女別・正規/非正規別にみると、家事・育児・介護などとの両立がしやすいと思う人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)は女性の非正規職員(51.9%)に比べ、女性の正規職員(28.3%)が23.6ポイント低くなっている。

また、全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規別のすべてにおいて家事・育児・介護などとの両立が しやすいと思う人の割合が高く、特に女性の非正規職員においては、16.0 ポイント高くなっている。(全国: 35.9%)

そう そう どちらとも あまりそう やや そう 思う そう思う 無回答 思わない そう思う いえない 思わない 思わない 計 計 女性•正規職員 31.5% 21.9% 6.4% 20.5% 19.2% 0.5% 28.3% 39.7% ·R元県調査(N=219) 女性 非正規職員 28.8% 27.1% 9.4% 9.7% 2.0% 23.1% 51.9% 19.1% ·R元県調査(N=299) 40 % 0 % 20 % 60 % 80 % 100 % 36.5% 男性•正規職員 18.9% 19.3% 0.4% 18.0% 25.9% 37.3% •R元県調査(N=244) 男性•非正規職員 33.7% 6.7% 26.9% 14.6% 18.0% 32.6% 6.7% 20.2% ·R元県調査(N=89) 0 % 20 % 40 % 60 % 80 % 100 % 女性·正社員 44.1% 15.2% 19.6% 15.4% 25.2% 30.6% ·H30全国調査(企)(N=1,500) 女性 非正社員 45.9% 9.4% 8.9% 11.7% 35.9% 18.3% ·H30全国調査(企)(N=500) 100 % 0 % 20 % 40 % 60 % 80 % 男性·正社員 •H30全国調査(企)(N=1,500) 13.8% ... 51.5% 17.6% 17.2% 31.4% 男性·非正社員 3.7% 9.4% 30.0% 56.8% 14.6% 15.4% 13.1%

図表 家事・育児・介護などとの両立がしやすいと思うか

※ そう思う計:「そう思う」と「ややそう思う」の合計、そう思わない計:「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計

60 %

100 %

80 %

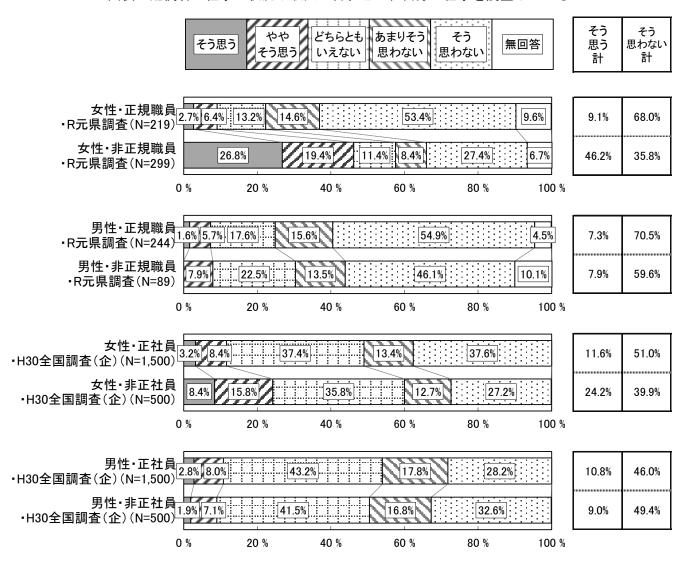
40 %

⑤ 配偶者の仕事の状況や収入に合わせて、自分の仕事を調整しているか

夫婦間での仕事の調整についての考えを、男女別・正規/非正規別にみると、配偶者の仕事の状況や収入に合わせて、自分の仕事を調整していると思う人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)は女性の正規職員(9.1%)に比べ、女性の非正規職員(46.2%)が37.1ポイント高くなっている。

また、全国調査と比較すると、特に女性の非正規職員において、配偶者の仕事の状況や収入に合わせて、自 分の仕事を調整していると思う人の割合が 22.0 ポイント高くなっている。(全国:24.2%)

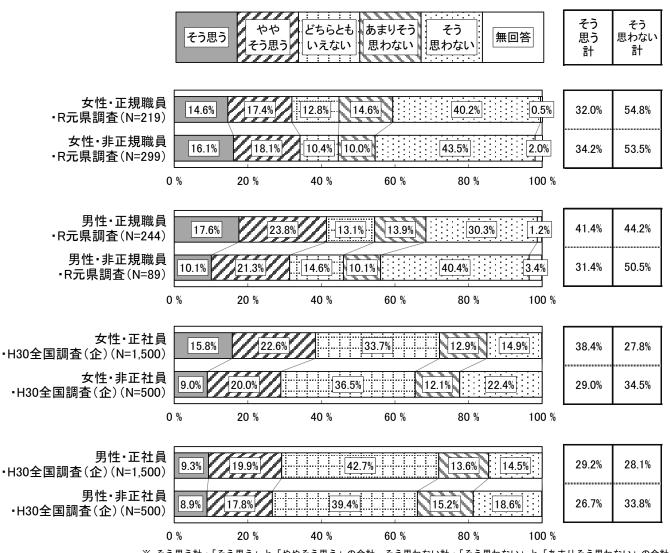
図表 配偶者の仕事の状況や収入に合わせて、自分の仕事を調整しているか



(16) 現在の主な仕事をしつつ、他の仕事もしてみたいと思うか(副業・兼業など)

副業・兼業についての考えは、男女・正規/非正規に関わらず、現在の主な仕事をしつつ、他の仕事もして みたいと思わない人の割合(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の計)が高くなっている。 また、全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規別のすべてにおいて、その割合が高くなっている。

図表 現在の主な仕事をしつつ、他の仕事もしてみたいと思うか (副業・兼業など)



(2) 自分の職場の様子

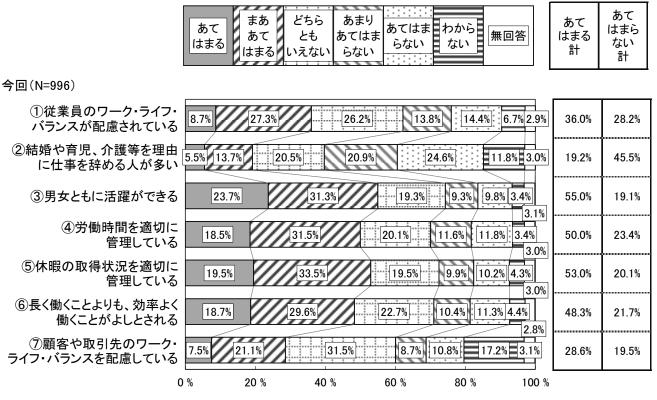
問 5-2 あなたの職場の様子についてうかがいます。次の(1) ~ (7) の項目があてはまるかどうか、 それぞれ 1 つずつ選んでください。(\bigcirc はそれぞれ 1 つずつ)

※雇用者のない個人事業主やフリーランスで働いている方は、ご自身や仕事仲間、取引先の状況を想定してお答え下さい。

職場の様子に関する各項目について、あてはまると思う人の割合(「あてはまる」と「まああてはまる」の計)をみると、「③男女ともに活躍ができる」が最も高く55.0%で、次いで「⑤休暇の取得状況を適切に管理している」(53.0%)、「④労働時間を適切に管理している」(50.0%)となっている。

一方、あてはまらないと思う人の割合(「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の計)をみると、「②結婚や育児、介護等を理由に仕事を辞める人が多い」の割合が最も高く 45.5%で、次いで「①従業員のワーク・ライフ・バランスが配慮されている」(28.2%)、「④労働時間を適切に管理している」(23.4%)となっている。

図表 自分の職場の様子について

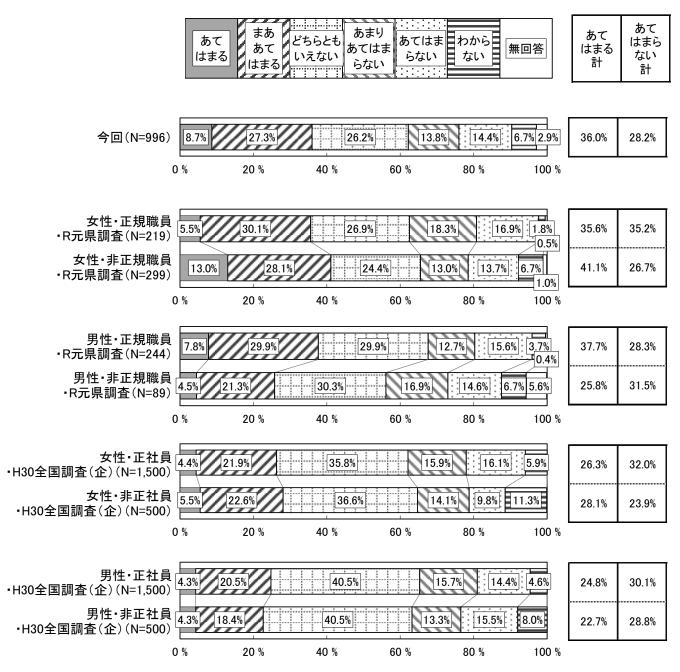


① あなたの職場は従業員のワーク・ライフ・バランスが配慮されていると思うか

「従業員のワーク・ライフ・バランスに配慮されている」と感じている人の割合(「あてはまる」と「まああてはまる」の計)について、男女別・正規/非正規別にみると、女性の非正規職員(41.1%)は男性の非正規職員(25.8%)に比べて15.3 ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規を問わず、その割合は高くなっており、特に女性の非正規職員 (41.1%) では 13.0 ポイント高くなっている (41.1%) では (41.1%) で

図表 あなたの職場は従業員のワーク・ライフ・バランスが配慮されていると思うか

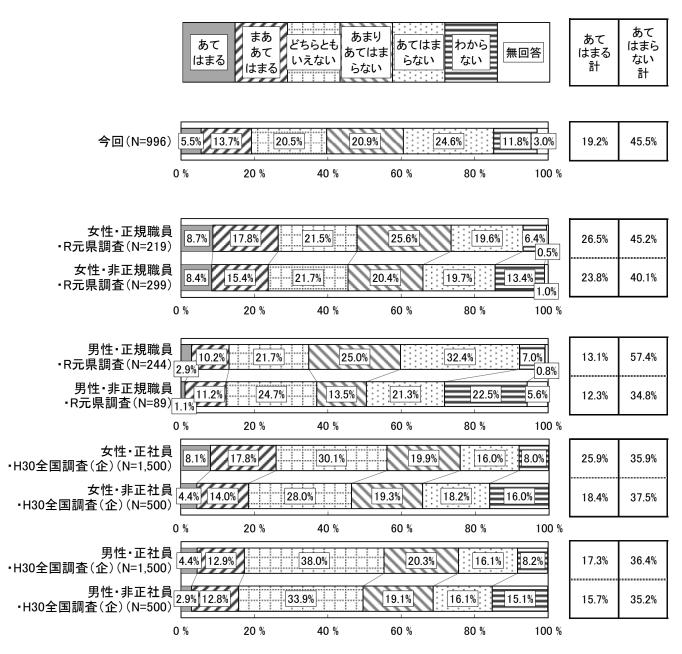


② あなたの職場は結婚や育児、介護等を理由に仕事を辞める人が多いと思うか

「結婚や育児、介護等を理由に退職する人が多い」と感じている人の割合(「あてはまる」と「まああてはまる」の計)について、女性では正規/非正規を問わず、その計が男性に比べて高くなっている。

全国調査と比較すると、女性の非正規職員(23.8%)ではその割合が5.4ポイント高くなっている。

図表 あなたの職場は結婚や育児、介護等を理由に仕事を辞める人が多いと思うか

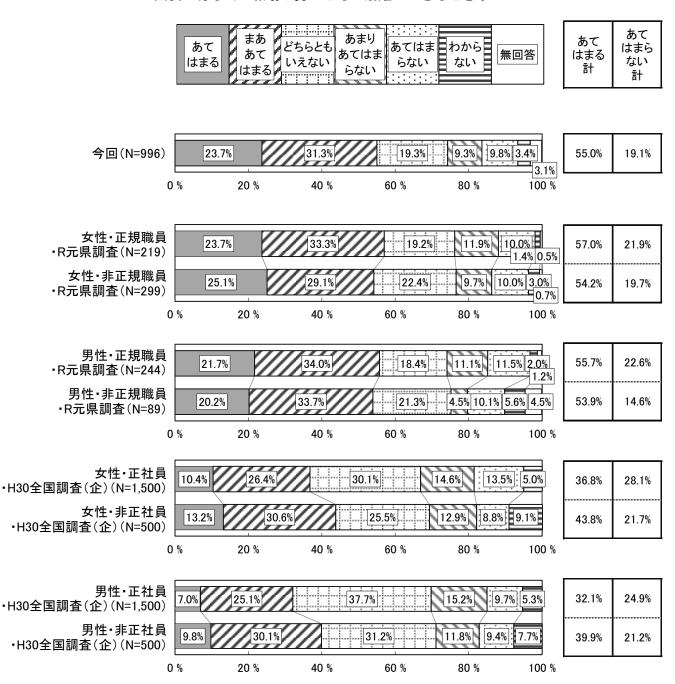


③ あなたの職場は男女ともに活躍ができると思うか

「男女ともに活躍ができる」と感じている人の割合(「あてはまる」と「まああてはまる」の計)は、男女別・正規/非正規別に大きな差はみられない。

全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規を問わず、その割合は 10 ポイント以上高く、女性の正規職員 (57.0%) では 20.2 ポイント高くなっている (全国 36.8%)。

図表 あなたの職場は男女ともに活躍ができると思うか

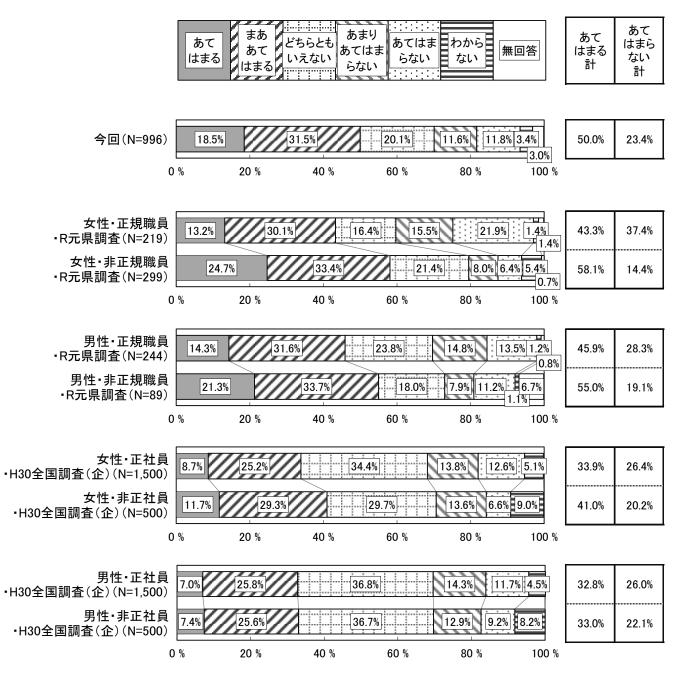


④ あなたの職場は労働時間を適切に管理していると思うか

「労働時間を適切に管理している」と感じている人の割合(「あてはまる」と「まああてはまる」の計)は、 男女別に関わらず、非正規職員でその割合が高くなっている。

全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規を問わず、その割合は約10ポイント以上高く、男性の非正規 職員(55.0%)では22.0ポイント高くなっている(全国33.0%)。

図表 あなたの職場は労働時間を適切に管理していると思うか

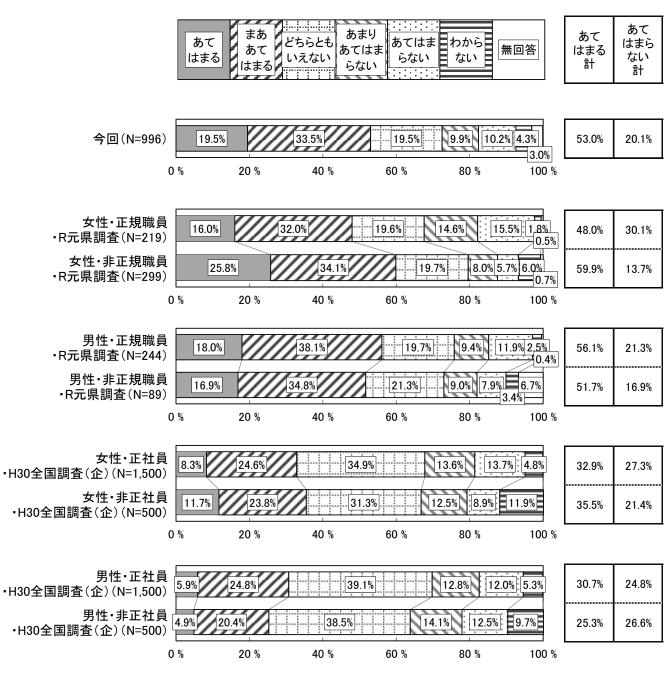


⑤ あなたの職場は休暇の取得状況を適切に管理していると思うか

「休暇の取得状況を適切に管理している」と感じていない人の割合(「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の計)は、女性の正規職員でその割合が最も高く30.1%で、女性の非正規職員に比べ16.4ポイント、男性の正規職員に比べ8.8ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規を問わず、「休暇の取得状況を適切に管理している」と感じている人の割合(「あてはまる」と「まああてはまる」の計)が高くなっている。

図表 あなたの職場は休暇の取得状況を適切に管理していると思うか

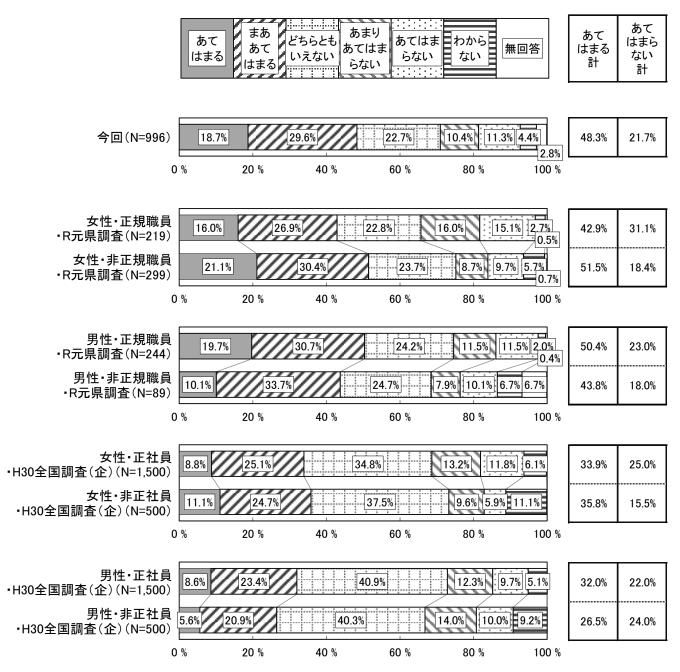


⑥ あなたの職場は長く働くことよりも、効率よく働くことがよしとされると思うか

「長く働くことよりも、効率よく働くことがよしとされる」と感じている人の割合(「あてはまる」と「まああてはまる」の計)は、女性の非正規職員でその割合が最も高く 51.5%で、女性の正規職員に比べ 8.6 ポイント、男性の非正規職員に比べ 7.7 ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規を問わず、その割合は高くなっており、特に男性の正規職員では 18.4 ポイント高くなっている。

図表 あなたの職場は長く働くことよりも、効率よく働くことがよしとされると思うか

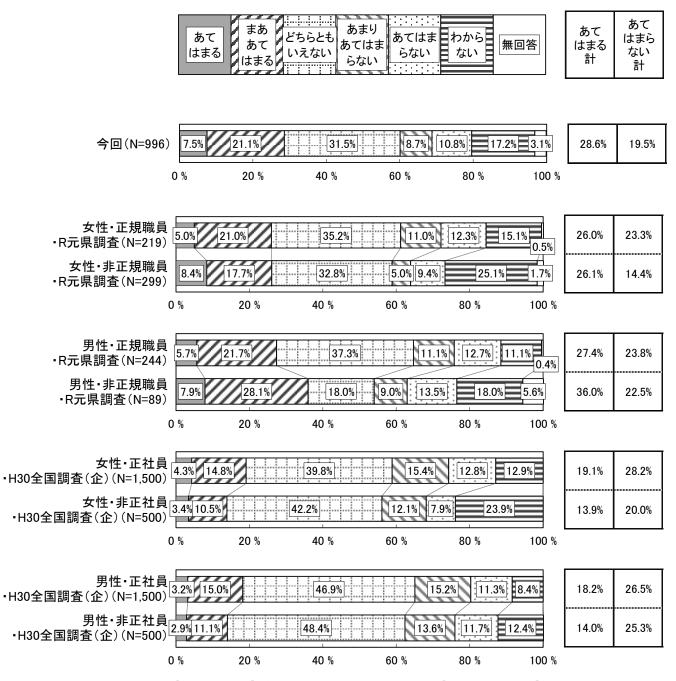


⑦ あなたの職場は顧客や取引先のワーク・ライフ・バランスを配慮していると思うか

「顧客や取引先のワーク・ライフ・バランスを配慮している」と感じている人の割合(「あてはまる」と「まああてはまる」の計)は、男性の非正規職員でその割合が最も高く36.0%で、男性の正規職員に比べ8.6 ポイント、女性の非正規職員に比べ9.9 ポイント高くなっている。

全国調査と比較すると、男女別・正規/非正規を問わず、その割合は高くなっており、特に男性の非正規職員では22.0 ポイント高くなっている。

図表 あなたの職場は顧客や取引先のワーク・ライフ・バランスを配慮していると思うか



(3) 就労形態・働き方を変えたいか

①就労形態を変えたいと思うか

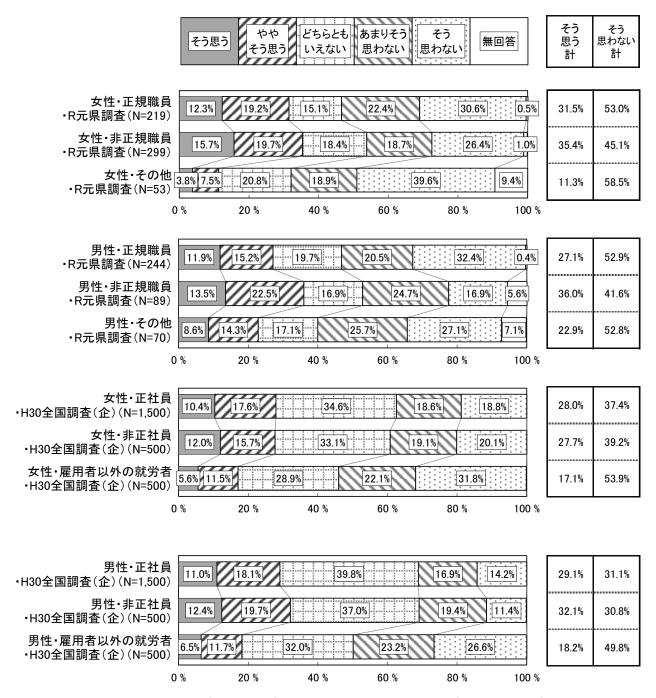
問 5-3 あなたは現在の就労形態や働き方を変えたいと思いますか。 あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

(1) 就労形態を変えたい

※「就労形態」は、正社員や契約社員、パート、アルバイトなどの雇用形態のほか、会社経営や個人事業主、フリーランス等、 就労のあり方のことをいいます。

「就労形態を変えたい」と思っている人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)を男女別・正規/非正規別にみると、男女・正規/非正規間で大きな差はみられない。全国調査と比較すると、女性の非正規職員(35.4%)において、7.7 ポイント高くなっている(全国 27.7%)。

図表 就労形態を変えたいと思うか (男女別・就労形態別)



②働き方を変えたいと思うか

問 5-3 あなたは現在の就労形態や働き方を変えたいと思いますか。 あてはまるものをそれぞれ 1 つずつ選んでください。(〇はそれぞれ 1 つずつ) (2) 働き方を変えたい

「働き方を変えたい」と思っている人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の計)を男女別・正規/非正規別にみると、女性の正規職員の割合が最も高く 56.7%で、男性の正規職員(38.5%)に比べて 18.2 ポイント、女性の非正規職員(33.1%)に比べて 23.6 ポイント高くなっている。全国調査と比較すると、女性の正規職員は、20.7 ポイント高くなっている(全国 36.0%)。

